

議会だより

発行／北斗市議会

監修／北斗市議会運営委員会

No.67
令和3年7月



「青春の夏、思い出の夏、いまこの時」
－ 渡島中体連軟式野球大会 北斗市運動公園野球場にて －

第2回定例会の概要

■こんなことが決まりました	1
■一般質問（9名）	3
■委員会活動をお知らせします	12
■一部事務組合・広域連合議会の動き	14
■議会日誌・編集後記	15

こんなことが決まりました

第2回定例会

令和3年第2回定例会は、6月15日から6月18日までの4日間の会期で開催され、一般質問のほか、令和3年度一般会計補正予算、条例の一部改正などについて審議しました。

▼補正予算

- **令和3年度北斗市一般会計補正予算（第4号）** …………… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費、森林整備促進対策経費、土木施設管理経費などで4,603万3千円を追加し、総額を224億336万円2千円としました。
- **令和3年度北斗市一般会計補正予算（第5号）** …………… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費などで2,054万3千円を追加し、総額を224億2,390万5千円としました。

▼条 例

- **押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定** …………… **原案可決**
行政手続きにおける押印の見直しに伴い、押印を求める規定のある本市の条例について、所要の改正を行うための条例の制定です。
- **北斗市手数料徴収条例の一部改正** …………… **原案可決**
本年5月19日に公布されたデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律で、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正され、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードの発行主体として、その発行に係る手数料を定めることになったことから、本条例の別表に規定されている個人番号カードの再交付手数料を削除するための一部改正です。
- **北斗市営住宅条例の一部改正** …………… **原案可決**
昭和53年に建設され、老朽化に伴い居住の用に供することが危険な状態であった、新郷団地の準耐火平屋建て、ブロック住宅5棟18戸について、解体除却を行う必要があることから、本条例別表第1から削除し、用途を廃止するための一部改正です。

▼そ の 他

- **令和2年度北斗市一般会計繰越明許費繰越計算** …………… **報告済**
第1回定例会で議決した繰越明許費について、令和3年度へ繰り越す額が、高度無線環境整備推進事業など合計10事業、総額5億4,892万8千円と確定したことによる報告です。
- **令和2年度北斗市下水道事業会計予算繰越計算** …………… **報告済**
令和2年度北斗市下水道事業会計予算の建設改良費について、令和3年度へ繰り越す額が、函館湾流域下水道事業費負担金(1,890万円)と確定したことによる報告です。
- **令和2年度北斗市一般会計事故繰越し繰越計算** …………… **報告済**
農林漁業者緊急支援事業のうち、漁業者に対する支援の一部について、国の補助金額の確定通知の遅れにより、本市における年度内の補助申請及び補助決定が困難となったことから、190万9,355円を令和3年度に繰り越したことによる報告です。

▼意見書 - 可決された意見書は、以下のとおりです -

- **林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書**
- **2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書**
(提出された意見書の内容は、議会のホームページで閲覧することができます。)

用語解説

意見書 … 地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国や関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことをいいます。意見書案は議員が提出し、本会議でその可否を決めます。

第2回臨時会

令和3年第2回臨時会は、4月9日に開催され、令和3年度一般会計補正予算、専決処分の承認について審議しました。

▼補正予算

- ・ **令和3年度北斗市一般会計補正予算（第2号）** …………… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費として、子育て世帯生活支援特別給付金などで5,775万6千円を追加し、総額を223億724万1千円としました。

▼専決処分

- ・ **令和2年度北斗市一般会計補正予算（第15号）** …………… **原案承認**
ふるさと納税の採納額の確定により、ふるさと納税ポータルサイト運営等委託料、地域振興基金積立金などで4,626万8千円を減額し、総額を285億2,968万2千円としました。

第3回臨時会

令和3年第3回臨時会は、5月28日に開催され、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算、条例の一部改正について審議したほか、任期満了に伴い5月9日付けで議長が指名した、各常任委員会及び議会運営委員会の委員会構成について報告しました。

▼補正予算

- ・ **令和3年度北斗市一般会計補正予算（第3号）** …………… **原案可決**
新型コロナウイルス緊急対策経費として、修学旅行キャンセル料補助金や漁業者事業継続緊急支援金などで5,008万8千円を追加し、総額を223億5,732万9千円としました。
- ・ **令和3年度北斗市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）** …………… **原案可決**
「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税の減免に関する特例条例の一部改正」に伴い、今年度の保険税の減免影響額を見込み994万5千円を減額、道支出金、繰入金で994万5千円を追加・増額し、総額48億1,370万4千円に変更はありません。
- ・ **令和3年度北斗市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）** …………… **原案可決**
「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う介護保険料の減免に関する特例条例の一部改正」に伴い、今年度の保険料の減免影響額を見込み206万円を減額、国庫支出金で41万2千円を追加し、総額を46億2,125万4千円としました。

▼条 例

- ・ **北斗市税条例等の一部改正** …………… **原案可決**
地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、北斗市税条例及び北斗市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正するための一部改正です。
- ・ **新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税の減免に関する特例条例の一部改正** **原案可決**
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した国民健康保険の被保険者等に対して課する国民健康保険税の減免について、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることを鑑み、期限を延長して、令和3年度分の国民健康保険税も対象とすることについて、所要の改正を行うための一部改正です。
- ・ **新型コロナウイルス感染症の影響に伴う介護保険料の減免に関する特例条例の一部改正** …… **原案可決**
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した65歳以上の第1号被保険者等に対して課する介護保険料の減免について、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることを鑑み、期限を延長し、令和3年度分の介護保険料も対象とすることについて、所要の改正を行うための一部改正です。



一般質問



工藤 秀子 議員

質問1	有害鳥獣駆除対策に携わるハンターの数について
市長	一定の要件を満たしている実施隊員21人を任命

問 例年春になり、山菜採りシーズンになると熊の出没が報道され、人的被害もあるようです。

また、秋になると畑の被害も多く聞かれ、北斗市でも例外ではありません。

そこでお尋ねします。

- (1) 過去3年間の動物の種類別捕獲数
- (2) 過去3年間のハンターの出動実績
- (3) 過去3年間の駆除協力体制にあるハンターの数

答(市長) (1)平成30年度は、ヒグマが10頭、エゾシカが16頭、令和元年度は、ヒグマが12頭、エゾシカが24頭、令和2年度は、ヒグマが9頭、エゾシカが39頭となっています。

(2)延べ人工数では、平成30年度が894人工、令和元年度が807人工、令和2年度が887人工となっています。

(3)市では、有害鳥獣による農林水産業被害を防止するため、北斗市鳥獣被害対策実施隊設置要綱の規定に基づき、市内に住所を有し、本市に所在する有害鳥獣駆

除団体に所属している方で、銃猟免許を所持するなど、一定の要件を満たす方を鳥獣被害対策実施隊員として任命しており、ハンターの人数については、平成30年度が19人、令和元年度及び令和2年度がそれぞれ21人となっています。

問 ハンターがヒグマやエゾシカを捕獲した場合などの報酬はどのようになっていくのか。

答(農林課長) ヒグマの捕獲については1頭につき2万5千円、エゾシカの捕獲については1頭につき1万5千円、巡回については1人当たり日額5千円となっています。

問 捕獲や巡回時に自前の銃猟や自家用車を使用しているのであれば、ガソリン代などの経費を少し上乗せすることを考えていただけませんか。

答(市長) 有害鳥獣駆除団体の皆さんと年に一、二回の話をする場があり、要望などがあれば市と協議をすることになっています。



被害調査で巡回しているハンター

問 市の報酬の他に活用できる補助金などはあるのか。

答(農林課長) 今年度から国の交付金を活用して、市の報酬に上乗せする形となるように申請をしています。

国の交付金は、クマやシカだと1頭当たり上限8千円の単価で交付を受けられ、昨年の実績などを勘案しながら申請しており、市が受け皿として立ち上げた協議会に交付され、協議会より実施隊員に支払われます。

質問2	配水管路老朽化による更新、耐震化工事の進捗状況は
市長	財政状況を注視しつつ、着実に工事を進めてまいりたい

問 北斗市では、住環境の向上や公共区域の水質環境の保全が図られています。上下水道施設の適切な管理を継続し、地震対策や長寿命化による安全・安心の確保がされていると思います。

先日、市民より道路の掘削をしていたが、水道管の交換のためかと声をかけられました。

そこでお尋ねします。

- (1) 配水管路老朽化による更新、耐震工事の進捗状況
- (2) 合併浄化槽の整備状況

答(市長) (1)市では、平成26年度に策定した長寿命化計画により、財政収支に基づく計画的な水道施設の整備・更新を進

めているところであり、平成28年度から令和7年度までの10年間では、36・4kmの配水管更新を行う予定となっています。現在の進捗状況としては、平成30年度に着手し、令和4年度完了予定の清川浄水場から中野通2丁目までの3.7kmの配水管更新工事ははじめ、重要度・漏水頻度の高い管路を優先して進めているところであり、計画5年目となる令和2年度末現在、19・4kmの老朽管更新を完了しています。

今後についても、財政状況を注視しつつ、着実に工事を進めることで、水道水の安定供給に努めてまいりたい。

(2)合併浄化槽は、生活排水処理施設事業として、下水道処理計画区域から外れた区域を対象に、主に居住の用に供する建物について、市が設置及び管理を行っており、平成19年度の事業開始から令和2年度までの14年間で161基を設置しています。



村内地区での下水道管新設工事

一般質問



高田 茂 議員

質問1 道道大野上磯線歩道整備の早急な事業実施要望が必要では
市長 事業実施者の北海道に今後も粘り強く要望してまいりたい

問 第2次北斗市総合計画によると、生活道路の整備計画では、交通量の変化などに対応した歩行者の安全確保のための歩道整備が求められているところです。道道大野上磯線は現在、拡幅事業が進められていますが、本町の横山石油株のT字路交差点から北側は未整備です。既に都市計画決定がされており、速やかに拡幅整備を実施すべき道路であると察します。

また、地域から強い要望があり、早急に事業が進捗されるように北海道に対して要望する必要があると思います。市長の考えをお伺いします。

答(市長) 現在、北海道が実施している都市計画道路「大野市街通」の街路整備については、今年度中に意富比神社付近の110mを実施し、事業認可を受けている区間が全て完了する予定と伺っています。横山石油株前の交差点から北側の国道227号交差点までの区間については、整備中の南側部分と合わせて「大野市街通」

として昭和50年9月に都市計画決定を受けています。

未整備区間の歩道幅は狭く、冬期間には堆雪により歩行者や運転者が不安を感じながら通行していること、また、歩道整備について地域からの強い要望があることは十分認識しています。

市としても地域の安全・安心な暮らしを守るため、早期の事業着手を望んでいるところであり、これまで、渡島総合開発期成会や社会資本整備推進会議などを通じて、事業実施者である北海道に対して、整備要望を続けてきた状況ですが、今後も各種機会を通じて粘り強く要望してまいります。

問 都市計画決定から既に45年が過ぎているのに、なぜ工事が進まないのか伺います。

答(都市住宅課長) 令和4年度に向けた社会資本整備推進会議での北海道からの回答は、事業計画の内容、地元意見などを踏まえ、慎重に検討してまいりたいとのことでした。

北海道としても検討段階ということで、現地測量や概略設計などの整備に向けた実質的な動きはまだありません。

今の整備中の工区がある程度完了してから次の工区を考えたいと伺っています。



拡幅事業未整備区間の道道大野上磯線

質問2 特定空き家の課税特例措置について十分な調査が必要では
課税課長 課税課で現地を確認し適切に判断をしている

問 住宅用地は、その面積の広さによって小規模住宅用地とその他の住宅用地に分かれており、それぞれにおいて課税標準額の特例措置が適用されています。小規模住宅用地の課税標準額は価格の6分の1の額、その他の住宅用地の課税標準額は価格の3分の1の額で適正に課税されていると思います。

市長に次のことをお伺いします。特例措置を受けている土地の課税状況について。

答(市長) 住宅用地に対する課税標準の特例措置を受けている土地の課税状況は、令和3年度固定資産税の当初賦課時点の状況で申し上げますと、小規模住宅用地は1万6千400筆、306万1千578㎡で、免税点以上となっている土地の課税標準額の合計に税率1.4%を乗じた税相当額は9千968万円となり、その他の住宅用地については1万1千167筆、207万7千493㎡で、免税点以上となっている土地の税相当額は7千869万5千円となっています。

なお、住宅用地の特例措置の適用に当たっては、住宅の新築・取り壊しの状況や土地の利用状況を的確に把握し、引き続き固定資産税の適正な課税に努めてまいります。

問 特定空き家が多くなっており、課税の特例措置を受けられる住宅用地としての機能が十分か調査が必要だと思いが考え方はどうか。

答(税務課長) 地方税法では、特定空き家に認定されても、その時点で特例措置をすべて外すのではなく、特定空き家として指導、勧告、命令、代執行と順次進んでいく中で、勧告がされた後には課税の特例措置を外すことと規定されています。

ただ、税務課としては、勧告までされない状態でも現地を確認し、住宅用地として機能していない時は、特例措置を外すなど適切に判断をしています。



山本 正宏 議員

質 問 ワクチン接種について推移の状況と今後の見通しについて

市 長 7月中旬には希望するすべての高齢者の接種が完了見込み

問 去る3月、第1回定例会、予算審査特別委員会において、私は火葬場での感染予防、茶毘（だび）への装備、防護等への配慮不足、防御不備を指摘質問しました。

このことと同時にコロナに関し、次のことをお尋ねします。

(1)火葬場でのコロナウイルス感染予防、防護体制の強化改善策の内容について
(2)罹患者茶毘に対するガイドラインの明文化は作成されたか
(3)会計年度任用職員への対応改革意識のアプローチについて

(4)ワクチン接種について、推移の状況と今後の見通しについて

答（市長） 市では、火葬場を含め、公共施設を利用する皆さまに対して、国が示した「新しい生活様式」に基づき、マスクの着用や手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保などをお願いしており、現在発令中の緊急事態宣言下にあつては、一部の施設で、利用人数の制限や利用時

間の短縮を行うなど、感染予防対策の徹底を図っています。

(1)市では、利用者へのお願いととも、手指消毒用アルコールの配置や、北斗市火葬場の火葬回数を午前と午後の1日2回だけにする事で、異なる遺族間の接触機会や3密を回避しているほか、火葬後はテーブルや椅子、ドアノブ等の消毒を行っています。

また、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方を火葬することとなった場合には、ご遺体は二重の納体袋に入れて納棺していただき、開封せずにそのまま火葬することとし、職員の防護体制としては、防護服、ゴム手袋、マスク、ゴーグル、フェイスマスク、長靴を着用し、火葬後は速やかに専門業者により施設内の消毒を行うなど、施設内の感染予防と衛生保持の徹底を図ることとしています。

(2)市では、ご遺族の意向をできるだけ尊重しつつ、火葬業務に従事する職員の安全・安心に配慮し、火葬業務を継続的に行うため、国のガイドラインを基本に、従事する職員の意見を聞いた上で、本年3月31日付で「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方の火葬等の取扱いについて」を市のガイドラインとして定め、葬儀業者に送付したほか、市ホームページで公表しています。

(3)本市の火葬業務は、3名の会計年度任用職員が担っており、担当課と現場職員とのコミュニケーションが重要となることから、日ごろから相互の報告、連絡、相談、火葬技術や接客対応の教育を行うことなどにより、火葬業務の円滑な実施、良好なサービス提供に努めています。



市内向野にある北斗市永遠の森火葬場

(4)市では、北斗市保健医療福祉問題協議会の中で協議を進めてきた結果、市内医療機関の全面協力の下、個別接種を主体に、不足部分を集団接種で補う方針でワクチン接種を進めており、予約受け付けに当たっては、ワクチン供給量の関係から、重症化リスクの高い75歳以上から開始し、段階的に年齢を引き下げながら、まずは65歳以上の方に順次接種できるよ

う体制を整えています。

個別接種の予約状況は、4月20日から、75歳以上を対象に受け付けを開始し、現在は70歳以上を対象を広げており、6月10日現在、7千786人の予約で、65歳以上の高齢者1万4千381人に占める予約率は54・1%となっています。

65歳以上の接種状況については、6月10日現在で6千6人が1回目の接種を完了し、その接種率は41・8%で、全国的にも高い水準となっています。

また、そのうち2回目の接種を終えた方は、1千47人で、2回目の接種率は7.3%となっています。

なお、その中には市内高齢者施設の入所者も含まれており、入所者96人に対しては、準備が整い次第、順次接種を行うことで、6月10日現在、898人が1回目の接種を完了、うち237人は2回目の接種を終えており、1回目の接種率は93・0%、2回目の接種率は24・5%となっています。

今後の見通しとしては、個別接種で1日当たり350件程度、さらに市内2カ所の保健センターで実施する集団接種を併用し、7月中旬には希望するすべての65歳以上の高齢者の方に対するワクチン接種が完了する見込みとなっています。

一般質問



水上 務 議員

質問1 工業地域から住宅専用地域に用途変更すべきと考えますが現状でも住宅や共同住宅の建築、宅地造成が対応可能

市長

問 谷好2丁目2番地〜4番地の一部が工業地域に指定されています。

現在、工場の配置がなくなり、車庫及びグラウンド、その他となっています。

そこで、工業地域から住居専用地域へ用途変更され、住宅建設ができるようにするべきと考えますが、市長の考えについてお尋ねします。

答(市長) 都市計画法上、工業地域は、住宅や店舗、事務所や工場・倉庫などが建築可能であることから、幅広い土地利用が見込まれるのに対し、住居専用地域は、住宅や一部店舗などは建築可能ですが、事務所や工場・倉庫などは、ほぼ建築できないという制限があります。

谷好地区の工業地域については、現状で住宅や共同住宅などの建築ができますし、宅地造成を行うこともできますので、現状の用途地域のままでも対応可能であると認識しています。

問 この地域をなぜ住宅専用地域にしてほしいかというと、谷川小学校の児童数

が、年々減り、去年は1年生が11人となっています。児童が減り、学校の価値がなくなってくると、その地域の発展にも影響をします。

したがって、児童数を減らさないようにするためには、国道からも近く、住宅の場所として非常に良いこの地域を工業地域から住宅専用地域に用途変更をして住宅を建てやすくすべきと考えますができませんか。

答(市長) 工業地域のままでも住宅は建築できますし、どちらかと言うと現状のままの方が扱いやすい状況です。危惧されている子どもの減少に関しては、教育委員会とも相談をして谷好地区だけの問題ではなく北斗市全体の問題として捉えていきたいと思っています。



谷川小学校へ登校する児童たち

質問2 三ツ石、当別、茂辺地区への巡回ワゴンの運行実施は実証運行に向けた運行計画に関する協議を行っている

市長

問 三ツ石、当別、茂辺地区への巡回タクシーの運行を実施すべきと考えます。市長の考えについてお尋ねします。

答(市長) 公共交通は、市民の日常生活における移動手段として欠かすことができないものであり、人口減少等に伴う採算面の問題や、高齢化に伴う運転免許証の自主返納など、将来のニーズを見通し、早急な対応を検討する必要があると認識しており、本市においては、交通事業者や関係機関、学識経験者、市民の代表者からなる北斗市地域公共交通活性化協議会において、本年3月、北斗市地域公共交通計画を策定したところです。

現在、本協議会において、実証運行に向けた巡回ワゴンの運行計画に関する具体的な協議が行われているところですが、運行エリアの一つとして、茂辺地、石別地区に居住している方が、両地区の駅や茂辺地支所、富川会館などを經由し、上磯駅前商店街や上磯駅まで移動できるルートを設定する予定です。

この運行計画では、既存の広域幹線交通である道南いさりび鉄道や函館バスとの乗り継ぎ利用を想定したライダー系統路線としての機能を果たすルートとダ

イヤを設定することとしています。今後、本協議会において、運行事業者や運行ルート、ダイヤ、運賃等を協議し、6月中旬に運行計画を決定し、国への事業認定申請を行い、本年10月から、実証運行を開始したいと考えています。

また、実証運行の開始に当たっては、広報誌等による周知や地域の皆さまに対する説明会を開催し、利用促進を図り、地域が一体となって、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた取り組みを促進してまいります。

問 巡回ワゴンは、乗車場所を函館バスのバス停の間隔ではなく、200mか300mおきに停めることを考えているのか。

答(企画課長) 協議会においてもフリー乗降を検討してきていますが、現時点では運輸支局の方の専門的な意見なども踏まえ、函館バスのバス停も利用しながら、公共施設などの主要な場所に巡回ワゴン用のバス停を設置しての乗降を基本とする運行となっています。

問 実証運行時の1日の運行本数、時間帯はどのようになっているのか。

答(企画課長) 茂辺地、石別地区は週2回、月曜日と木曜日の運行で、朝8時半ごろに三ツ石のバス停を起点に、9時10分ごろに上磯駅に着くようなダイヤで、1日1往復を予定しています。

一般質問



高村 智 議員

質問1 ワクチンの集団接種会場を浜分地区でも開設してはどうか
市長 接種率向上のために人口密集地の実施は効果的と考える

問 現在、新型コロナウイルスの集団接種会場として予定しているのは、北斗市保健センター、北斗市せせらぎ保健センターの2カ所ですが、人口の多い浜分地区にも開設してはと思いますが、考えをお聞かせください。

答(市長) 現在、市では市内2カ所の保健センターでの集団接種を予定しているところですが、今後、対象者数の多い64歳以下への接種が主体となっていく上では、接種率向上のために人口密集地域での集団接種の実施は効果的であるとの考えも持っており、実際に接種を担う医療関係者とも十分協議を重ねた中で、開設の有無、時期、会場等について検討してまいりたい。

質問2 若手職員の発想によるPR企画などの考えは
市長 若手職員のアイデアを取り入れ積極的に取り組みたい

問 新型コロナウイルスにより、全国各地では様々なイベントが中止になり、北

斗市でもPR活動が停滞している状況です。

今後、新型コロナウイルスの接種率が高まり、以前のようなPR活動ができたとしても、ホームページの活用方法を構築していくのが重要と考えます。

そこでお聞きします。

- (1)この5年間のホームページの閲覧数について
- (2)この5年間のふるさと納税サイトへの訪問数と納税件数の比率について
- (3)ホームページ内の写真や動画など容量の制限がどのくらいなのか。
- (4)ホームページのさらなる改良と、若手職員の発想によるPR企画などの新たな展開は模索されているのか。

答(市長) (1)閲覧されたページ総数で申し上げますと、平成28年度が173万6千528ページ、平成29年度が155万531ページ、平成30年度が171万3千150ページ、令和元年度が167万6千882ページ、令和2年度が229万7千727ページとなっています。

(2)平成28年度は訪問数が5千190件に対し、納税件数は98件で1.9%、平成29年度は訪問数が3千99件に対し、納税件数は2千232件で72.0%、平成30年度は訪問数が3千461件に対し、納税件数は2千805件で81.1%、令和元年度は訪問数が2千831件に対し、納税件数は4千649件で164.2%、令和2年度は訪問数が3千969件対

し、納税件数は5千599件で141.1%となっています。

(3)市のホームページのデータは外部サーバーで管理されており、このサーバーの容量は40ギガバイト、データをアップロードする際の1ファイル当たりの上限は100メガバイトとなっています。

(4)システムの改良予定はありませんが、機能面では、弱視の方や高齢者向けに「音声読み上げ機能」と「ふりがな機能」を追加する作業を進めています。

また、若い職員のアイデアを取り入れ、SNSの活用や動画による情報発信などを中心としたコンテンツの充実を図り、積極的なPRに取り組んでまいりたい。

問 函館水産高校と大野農業高校の実習製品や作物をふるさと納税に活用し、さらに高校生によるPR動画を作成してはいかがか。

答(企画課長) 春以降、米とリンゴを中心に、ふるさと納税の返礼品に追加するような協議を行っており、その際、ただ商品を載せるだけではなく、ストーリー性を持たせたPRも検討していきたい。

質問3 近年の児童生徒の学力・体力はいかがか
教育長 児童生徒の頑張りなどにより一定の成果があった

問 新型コロナウイルスにより、子どもたちの生活環境や教育環境を今一度見直

す時期になりました。子どもたちの体力の低下と学力に不安を感じている保護者も多くいます。

そこでお聞きします。

- (1)北斗市内の小・中学生の近年の学力と体力に対する教育長の評価をお聞かせください。
- (2)教員の働き方改革による放課後学習サポートや部活動指導など、今後の対応や課題がたくさんあります。

これからのこれらの対応について、対策をお聞かせください。

答(教育長) (1)学力については、北斗市学力向上プロジェクトチームにより、学力下位層の底上げを市全体の目標として取り組んできており、児童生徒一人ひとりの頑張りや教職員及び地域保護者の支援のおかげもあり、一定の成果があったものと評価しています。

体力については、これまで中学生女子の体力に課題がみられたことから、体育の授業にダンスを取り入れ、楽しみながらトレーニングを行うなど工夫した取り組みを進めており、徐々にではありますが向上の方向に進んでいます。

(2)子どもたちへの対応を削減するという考え方はありませんが、新たな視点で取り組むこと、そして学校・家庭・地域がより一層の協力関係を構築していくことが重要であると考えています。



伊藤 洋平 議員

質問1 今年度の森林整備の計画と進捗状況は怎么样了なっているか

市長 令和2年度から4カ年計画で現況調査を実施している

問 (1)市政執行方針において、森林整備の推進について、「森林環境譲与税を活用し、未整備私有林の現況調査を実施する」とありますが、今年度における計画と進捗状況はどのようになっているか。

(2)現在、植林の基となる種苗業者が道南地域で7事業所あり、そのうちの6事業所が本市にあります。

事業者の高齢化などの観点から、持続可能な森林保全に寄与していただくべく、支援をすることはないか。

(3)スマート林業についてどのように考えているか。

答(市長) (1)市では、令和元年度に行いました未整備私有林所有者への意向調査の結果を基に、令和2年度から令和5年度までの4カ年計画で現況調査を実施することとしており、進捗状況については、令和2年度末で約27%、今年度末で約51%を見込んでいます。

(2)種苗業者に対するトラクターなど耕作機具導入に係る直接的な支援策はありませんが、

せんが、種苗生産に対しては、国の支援策が確立されているものもあります。

具体的には、近年、注目されているコンテナ苗の導入が挙げられ、「優良種苗低コスト生産推進事業」や、「林業成長産業化総合対策」などを効果的に組み合わせることにより、優良な種苗を低コストかつ安定的に供給する体制の構築が期待されますので、市としては、国や道とも連携した中で、少しでも事業者の負担軽減を図ってまいりたい。

(3)森林が適切に管理され、その多面的機能を十分発揮させるためには、本市の林業を持続可能なものとし、さらに成長産業化させることが必要であり、そのためには高性能林業機械やICT等先端技術の導入など省力化や低コスト化を図るスマート林業の推進が、今後、重要になってくると認識しています。

問 令和3年度の市政執行方針において、ワイン醸造所等の建設計画について、「様々な相乗効果を生むものであり、行政としてできる限りの支援を行う」という内容がありますが、現在の支援や進捗状況はどのようになっているか。

答(市長) 現在、支援体制を整備すべく、

市長 支援体制を整備すべく、各種計画の見直しを進めている

質問2 ワイン振興に関する支援、進捗状況は怎么样了なっているか

市長 令和3年度の市政執行方針において、ワイン醸造所等の建設計画について、「様々な相乗効果を生むものであり、行政としてできる限りの支援を行う」という内容がありますが、現在の支援や進捗状況はどのようになっているか。

答(市長) 現在、支援体制を整備すべく、

市の各種計画の見直しを進めており、「北斗農業振興地域整備計画」には、ワイン振興に関する内容を盛り込むことで、特定地域としてワインの振興を図ろうとしていることや、文月地区は、都市計画法上の市街化調整区域に指定され、農業に必要な建物以外は建築することができない地域ですが、「グリーン・ツーリズム計画」に位置付けることにより、農業者が取り組む農産物の直売所や農泊施設、農家レストランなどのグリーン・ツーリズム関連施設の建設が可能となることから見直しを行っているところです。

これらの計画の見直しで一体的な振興が可能となることから今後、事業計画に沿った国や道の助成制度の検討などにより事業者の負担軽減を図ってまいりたい。

た仕事がないなど、人口急減地域の課題を解決するため、地域の事業者が協同組合を設立し、地域の仕事を組み合わせることで通年雇用を可能とした上で、協同組合で雇用した人材を派遣しようとするもので、移住・定住の促進や地域の活性化につながることを期待されています。

しかし、本市の現時点の状況では、季節ごとの労働需要等に比べて、複数の事業者の事業に従事をさせるほどの仕事の需要は少ないと判断しています。

また、本事業の対象要件である「人口急減地域」に本市が該当するかは明確ではありませんので、市としては、引き続き、企業誘致や地場産業の振興などに力を入れていくことで、雇用の創出や地域経済の活性化を図り、ひいては移住・定住の促進にもつなげていきたいと考えています。

市長 引き続き企業誘致や地場産業の振興等に注力し役立てたい

質問3 特定地域づくり事業を推進し、雇用の創出に役立てては

市長 特定地域づくり事業を推進することにより、地方への転出を減少させるとともに、雇用の創出、人材不足解消にも寄与するものと考えているが、市長はどのように考えているか。

答(市長) 本事業は、「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づき、昨年度、総務省が制度化したもので、年間を通じ



育苗中のトドマツの種苗 (文月地区)

一般質問



前田 治 議員

質問1 新型コロナウイルスワクチン接種の今後の接種計画は

市長 11月末までには接種を完了させたいと考えております

問 新型コロナウイルスワクチン接種予約での混乱が全国各地で起こる事態となっており、北斗市においてもコールセンターに何度電話してもつながらず、ようやくつながったら締め切られていたというケースが多数出ています。

ワクチン接種は、新型コロナウイルスの感染予防と、1日も早い終息を願う市民の大切な行動です。

混乱なく実施されることが大切です。以下の点についてお伺いします。

- (1) 北斗市の75歳以上の人口
- そのうち、ワクチン接種予約済み人数
- 及び接種済み人数について
- (2) 北斗市の65歳から74歳の人口
- そのうち、ワクチン接種予約済み人数
- 及び接種済み人数について
- (3) 今後の接種予約及び接種計画について

答(市長) (1)基準日である本年1月1日現在、75歳以上の人口は7千308人で、そのうち接種予約済みの方は6月10日現在で5千178人。接種済みの方は、予約不要

な高齢者施設入所者も含め、1回目が5千472人、2回目が969人となっています。(2)基準日における65歳から74歳の人口は7千73人で、6月10日現在予約済みの方は2千608人。接種済みの方は、予約不要な高齢者施設入所者も含め、1回目が534人、2回目が78人となっています。

(3)7月中旬には希望するすべての65歳以上の方に接種が完了する見込みでありまして、その後は対象年齢を徐々に下げ、いく形で接種券を発送する方針としており、ネットを使い慣れている現役世代が中心となることから、ウェブ予約の割合の増加が期待され、それにより電話がつかなくなりにくい状況もある程度回避できるものと考えています。

なお、接種につきましては、引き続き現在進めている個別接種主体で、不足分を集団接種で補うという方針の下、11月末までには、接種を完了させたいと考えています。



ワクチン接種の様子

問 今後、接種対象が若い人たちになっていきます。

北斗市以外に勤務する方も多いため、函館市などでスムーズに接種できる環境づくりの必要があるのではないのでしょうか。

答(保健福祉課長) なるべく早く、道南地域で皆さんがワクチン接種できるような仕組みについて、函館市等とも協議してまいります。

質問2 定年前の退職者が後を絶たないことへの認識は

市長 大きな損失と認識をしています

問 北斗市役所職員の定年前退職が後を絶ちません。

市民の福祉と暮らしを支え、住みやすいまちづくりを実現していくためにも、職員が定年前に退職することなく、経験を積み、元気に希望を持ちながら仕事ができる職場環境づくりが必要と考えます。

以下の点についてお伺いします。
(1)過去3年間の年代別の定年前退職職員数について

(2)過去3年間のひと月以上の病気休暇を取得した職員数について

答(市長) (1)平成30年度は全体で4人おり、30代が2人、40代と50代が各1人。令和元年度は4人で、30代が2人、50代と60代が各1人。令和2年度は7人で、

20代が1人、40代が2人、50代が4人となっています。

(2)平成30年度が3人、令和元年度が2人、令和2年度が8人となっています。

問 若い人たちを含めた定年前の退職者が後を絶たない、むしろ増えてきているという現状について、どう認識しているか。

答(市長) 職員が定年前に退職するということは、民間企業であれ市役所であれ、大きな損失だというふうに認識しています。

問 私は、この問題を何度も取り上げてきました。

平成30年の第1回定例会でも職員が働きやすい環境になるよう努めてまいりたいという答弁だったが、どのような改善をしてきたのかお知らせください。

答(総務課長) 職場環境の改善の取り組みですが、基本的には職員とのコミュニケーションを重視して、問題があった場合には、それを上司や同僚に訴えやすい環境ということで実施しています。

また、職員研修も昨年度から、新規採用職員を対象にかなりの期間をとってやっておりますし、今年度は新たに人材育成の取り組みを進めてまいります。



玉森 大樹 議員

質問1 市営柳沢スキー場にリフト等を設置し、利用促進しては

教育長 近隣に民営のスキー場があり整備しても利用増は見込めず

問 近年、国内のウインタースポーツ人口は、様々な理由により最盛期の3分の1以下に減少したと言われています。当市には、ウインタースポーツ施設として柳沢スキー場があります。

答 このような状況下において、施設の使用状況並びに管理状況をお伺いします。
答(教育長) 市営柳沢スキー場は、平成4年12月に現在の形で開設されており、平成30年度からは指定管理者であります。特定非営利活動法人北斗スポーツクラブが管理運営を行っています。

使用状況については、ほぼ横ばいで推移しており、過去3年間では、平成30年度は1千53人、令和元年度は921人、令和2年度は976人が利用しています。
主な利用者については、一般利用では幼児または小学生とその保護者、団体利用では、小学校や保育園等で利用されているところと見られます。

また、管理状況については、開設期間中では、4名が交代で管理しており、除

雪作業、スキー場の管理、ロッジの清掃、管理等を行っています。

問 今年の2月に現地を確認した時には、利用者はおらず、そり滑りをした跡が多数残っていました。

スキー場として整備がされていないことや、コースの長さ、リフトがないなどの要素がスキーヤーやスノーボーダーに利用されない理由ではないのでしょうか。参考のために、近隣の自治体が運営するスキー場を見ますと、木古内町や知内町、厚沢部町、上ノ国町などはリフトや夜間照明などを整備し、無料で町民に開放している事例もあります。

柳沢スキー場も施設を整備し、利用者を増やす考えはないのでしょうか。
答(社会教育課長) 近隣の七飯町などに民営のスキー場があることから、市としては、今のところ整備の予定は考えていません。

問 近くに民営の立派なスキー場があるのだからそちらへ行って滑ればいいという考えではなく、せっかくある市営スキー場なので整備をして、一人でも多くの市民に利用してもらえようと考えていただきたいと思えます。

また、スキーは、高齢の方まで楽しめる生涯スポーツと言われています。冬のスポーツ施設として、現在の場所にこだわらず、緩やかで長く滑れるところがあれば他の場所で選定していただいても構いません。
ぜひ、検討していただきたい。

答(教育長) 今の柳沢スキー場を整備したところで現況を考えると、利用者が増えるとも思えません。

市民の皆さんの意見も聞き考えていかなければなりません。現段階ではさらなる整備など大変厳しい状況と考えます。



市営柳沢スキー場

質問2 道南いさりび鉄道への経営安定化事業補助金の推移は
市長 開業5年で経営計画に対する本市負担支出額は約18%増

問 道南いさりび鉄道は、赤字経営が見込まれる中、北海道及び沿線自治体からの出資金、初期投資補助金及び経営安定化事業補助金が投入され、開業より5年が経過しました。
現在も通勤・通学・通院など沿線地域

の住民には欠かせない生活路線となっています。

運行赤字に対する当市の負担割合11.2%により、これまで支出した補助金の推移、当初見込みとの比較、今後の展望をお伺いします。

答(市長) 開業後10年間の収支予測を行い、道及び沿線市町が実質負担する収支不足額は約23億円、このうち、運行赤字は約15億7千390万円と試算しており、本市は11.2%の負担割合で財政支援を行うこととして合意しています。

本市がこれまでに支出した経営安定化事業補助金について、平成28年度は、850万4千965円、平成29年度は、1千667万1千949円、平成30年度は、1千968万3千991円、令和元年度は、1千769万565円、令和2年度は、2千917万6千553円となっています。

なお、道南いさりび鉄道の令和2年度下期の決算に対する本市の補助金は今年度における支出となりますが、697万2千730円の予定となっています。

また、経営計画に基づく収支不足額に本市の負担割合を乗じて算出した支出見込額は、平成28年度から令和2年度までの合計で8千377万6千円であり、決算に基づく実際の補助金の支出額の合計が9千870万753円となりますので、約18%の増となっています。

一般質問



新関 一夫 議員

質問1 最終的に対象者のワクチン接種がすべて終了する時期は11月末までには接種を完了させたいと考えている

市長 いよいよ高齢者に対する新型コロナワクチン接種が始まりましたが、以下の点についてお聞きします。

(1) ワクチン接種受付時には、多くの接種希望者が殺到すると考えられ、私は第1回定例会で混乱を回避するための工夫をすべきと指摘していましたが、受付時の状況はどのような結果で、これから接種対象者を拡大するに当たり、今後どのような対策をとるのかを伺います。

(2) 教育・保育関係職員の接種も早期に取り組むべきと考えますが、考えをお聞きます。

(3) 接種対象者が12歳まで拡大されましたが、最終的に対象者の接種がすべて終了する時期について伺います。

答(市長) (1) 市では、75歳以上を対象に予約受付を4月20日から開始しましたが、予約初日に受付可能なワクチンの数が975回分と極めて少ない配分でコールセンターがつかぬ状況となり、3時間半で予約数が埋まり、多くの皆さまにご

不便をお掛けする結果となりました。今後は、対象年齢が下がるにつれ、ウェブ予約の割合が増すことが予想されることから、当初のような大きな混乱はないと考えています。

(2) 高齢者の次に優先すべき対象であると考えており、64歳以下の基礎疾患をお持ちの方と同列で優先接種の対象としたい。(3) 10月末までの完了を基本に進め、希望日に接種できないような場合でも、11月末までには完了させたいと考えています。

質問2 対策土入れ地の水質検査について

市長 先般、初めて基準値を超過した

答(市長) 北海道新幹線トンネル工事に伴う要対策土、条件不適土について伺います。これまでの浸出水の管理状況と、水質検査の状況について

地下水で、初めてセレン濃度が、4つある観測孔の一つで基準値の0.01mg/Lを超える0.011mg/Lとの検査結果が出たことの報告を受けました。

本市としては機構に対し、直ちに対策土の搬入を中止することや市民の安全を

最優先に村山地区受け入れ地の周辺で井戸水を利用している地域住民に報告し、井戸水の水質検査や基準値が下がるまで飲用水の供給などを要請したところです。また、わずかの超過とはいえ、機構が設置する第三者委員会が予測したりスク評価とは異なる結果が出たことは重大な事態であり、この状況を踏まえ、今回の水質検査とは直接関係ないものの、柳沢地区へ仮置きする条件不適土の搬入も中断するよう機構に要請したところです。

問 信頼のおける別な機関で調査をしてみらうべきと考えるがいかがか。

答(副市長) まずは、専門家による機構側の第三者委員会での原因究明についてしっかりと伺いたい。

質問3 生活交通としての巡回ワゴン実証運行の具体的な中身は

市長 運行日を週2日、おおむね午前中に1または2往復とする

問 本年3月に「北斗市地域公共交通計画」が策定されたことに関し、以下の質問をします。
(1) JRの新函館北斗駅―函館駅間は、北海道新幹線札幌延伸時には並行在来線となりますが、北海道新幹線並行在来線対策協議会における現在の協議状況と市としての考えについて、お知らせください。
(2) 「生活交通としての巡回ワゴンの導入と効率的な運行」とありますが、本年度

から予定する実証運行の具体的な中身は。
答(市長) (1) 本年4月に開催された本協議会では、昨年度実施した旅客流動調査、将来需要予測調査及び収支予測調査の結果が報告されたところです。

現在、本協議会の幹事会において、調査結果の精査が行われており、初期投資や単年度収支の条件設定や考え方を整理し、今後、見直しの検討や個別協議が行われる予定となっています。

この調査結果は、経営分離後の並行在来線の在り方に関する方向性を決定するための重要な判断材料となりますので、今後の協議を注視してまいります。
(2) 日常生活に必要な移動手段を確保するため、定時・定路線運行を行う10人乗り程度の巡回ワゴンを導入することとしています。

実証運行の運行エリアは、「茂辺地・石別地区から上磯地区までのルート」、「三好、水無、桜岱、押上、大工川地区から上磯駅前地区までのルート」、「新函館北斗駅を起終点として、稲里、白川、細入地区からせせらぎ温泉、総合分庁舎前を経由し、新函館北斗駅に戻るルート」の3エリアとしています。

また、運行日はいずれのエリアも週に2日とし、おおむね午前中に1または2往復とし、運賃は一律300円とすることなどが協議会において既に決定しています。

委員会活動をお知らせします

《総務常任委員会》

- ・5月28日に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。
- ・6月17日に第2回定例会で付託された、条例の制定（1件）、条例の一部改正（1件）の審査を行い、『押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定』については、押印を必要としないか、規則やその他の例規も含めて整理をしていくのかについての質疑応答ののち、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定し、本会議で報告を行いました。

《文教厚生常任委員会》

- ・5月28日に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。

《産業建設常任委員会》

- ・5月28日に委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。

《議会運営委員会》

- ・4月1日に委員会を開催し、第2回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を4月9日の1日としました。
- ・4月13日に委員会を開催し、議会だより（No.66）の監修を行いました。
- ・5月20日に委員会を開催し、正副委員長の互選ののち、第3回臨時会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を5月28日の1日としました。
- ・6月7日に委員会を開催し、第2回定例会の議会運営（会期日程等）に関する協議を行い、会期を6月15日から18日までの4日間としました。
- ・6月15日に委員会を開催し、第2回定例会の議会運営（追加議件）に関する協議ののち、本会議へ提案する意見書の趣旨説明を提出者から受けました。

《北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会》

- ・6月11日に委員会を開催し、市から、新幹線トンネル掘削土の村山地区受入地で、鉄道・運輸機構が毎月実施している水質検査において、地下水の観測孔4カ所のうち、1カ所から環境基準値の0.01mg/Lを超えるセレン0.011mg/Lが検出されたことに伴い、第三者委員会による調査結果が明らかになり安全性が確認されるまでは村山地区の対策土の搬入と、今回の水質調査の結果とは関係ないが、これまでの審議結果に基づく説明とは異なる状況を踏まえ柳沢地区の仮置き場への条件不適土の搬入も鉄道・運輸機構に市より要請し中断したことの報告を受けました。その後、地下水を農業用水として利用する影響、村山地区受入地への現時点の搬入量と今後の搬入予定量、村山地区受入地の下流部での井戸の利用軒数と飲用水の供給期間などの質疑応答を行いました。



北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会のようす

「会議録検索システム」をご利用ください！

北斗市議会では、1人でも多くの市民の皆様に幅広く議会の情報をお知らせするために、会議録検索システムを導入しています。

北斗市議会ホームページの「会議録等」→「会議録検索システムのページ」をクリックすると右の画面に移ります。検索画面で、気になるキーワードなどを入力すると簡単に会議録を閲覧することができます。

ぜひ、議会で何が議論されているかご覧ください。

※ スマートフォン・タブレットでもご利用いただけます。



常任委員会及び議会運営委員会構成

議会における各委員会の任期が2年で満了となりましたので、このたび改選により新たな委員会を構成しました。各委員会における新しい委員は次のとおりです。任期は、令和3年5月9日から令和5年4月30日までとなります。

なお、議長は委員会に所属していません。

◎ 委員長／○ 副委員長

総務常任委員会 (7名)	
◎ 山本正宏	○ 高田茂
前田治	吉田直樹
栃木正則	白石勝士
白戸昭司	

文教厚生常任委員会 (7名)	
◎ 新関一夫	○ 工藤秀子
仲村千鶴子	伊藤洋平
佐々木亮	高村智
花巻徹	

産業建設常任委員会 (7名)	
◎ 玉森大樹	○ 渡野辺秀雄
寺澤十郎	小泉征男
水上務	秋田厚也
坂見英幸	

議会運営委員会 (9名)	
◎ 秋田厚也	○ 寺澤十郎
渡野辺秀雄	高村智
新関一夫	玉森大樹
工藤秀子	山本正宏
白戸昭司	

常任委員会は、それぞれの所管事項に関わる事務の調査を行うほか、議案、請願、陳情などを審査する機関です。

また、議会運営委員会は、議会運営に関することや議会に関する条例、規則の制定や改正に関することなどを協議する機関です。

「議会だより」のアプリ配信ご利用ください！

議会だよりは、配信アプリ「マチイロ」でも見ることができます。


発行日にはプッシュ通知でお知らせするので、手軽にすぐに議会だよりを読むことができます。

ご利用方法

利用するには、お手持ちのスマートフォンやタブレットに「マチイロ」のアプリをインストールしていただき、「北斗市議会だより」を登録してください。

下記QRコードから、ご利用の端末にあわせてアプリをインストールしてください。

アプリダウンロードサイト

Android OS	iOS
	

※QRコードは株式会社デンソーウェブの商標登録です。



その他の会議など（市議会）

■会派代表者会議

・6月15日、北斗市役所で開かれ、議会ICT化に関する調査特別委員会（仮称）について協議しました。

■全員協議会

・6月16日、北斗市役所で開かれ、閉会中における正副議長の公務活動、一部事務組合議会の概要の報告、総括質疑の審議順序の変更に伴う留意事項についての確認を行いました。

一部事務組合・広域連合議会の動き

■南渡島消防事務組合議会

・5月31日、令和3年第1回臨時会が南渡島消防事務組合消防本部で開かれ、令和3年度一般会計補正予算、財産の取得（1件）が審議され、可決されました。

■函館湾流域下水道事務組合議会

・6月25日、令和3年第1回臨時会が函館市役所で開かれ、議席の指定、議長選挙、監査委員の選任同意が審議され、同意等されました。

■函館圏公立大学広域連合議会

・6月25日、令和3年第1回臨時会が函館市役所で開かれ、議席の指定、議長選挙が行われました。



合併により市制を施行した議員の勤続年数は、町議会議員年数の二分の一が勤続年数に通算となり、3年以上市議会議員である者を要件とする規約があり、今回表彰を受けることとなりました。

- 第97回全国市議会議長会定期総会（5月26日、書面開催）において、永年勤続議員として全国市議会議長会長より表彰され、6月15日の第2回定例会において表彰が伝達されました。
- 市議会議員25年以上勤続表彰（特別表彰）
小泉 征男 議員
 - 市議会議員20年以上勤続表彰（特別表彰）
中井 光幸 議員
 - 市議会議員10年以上勤続表彰
白戸 昭司 議員
秋田 厚也 議員
工藤 秀子 議員

全国市議会議長会表彰

議会の模様がインターネットでご覧いただけます。

- 北斗市議会ホームページの「議会映像」→「市議会インターネット中継」をクリックすると、視聴方法の選択画面（「ライブ中継を見る」・「録画映像を見る」）に進みます。

<https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/1987.html>

北斗市議会

検索

- 市役所や総合分庁舎などでも、議会中継の模様が設置モニターでご覧になれます。

【ご覧いただける場所】・市役所本庁舎・総合分庁舎・市役所七重浜支所、茂辺地支所



議会日誌（令和3年4月1日～令和3年6月30日）

4月 1日	「議会運営委員会」	6月 7日	「議会運営委員会」
8日	北海道市議会議長会道南支部議長会議「函館市」（正副議長）	10日	一般国道227号厚沢部町外新中山トンネル工事安全祈願祭（議長）
9日	北斗市議会第2回臨時会本会議	11日	「北海道新幹線トンネル工事に伴う掘削発生土に関する調査特別委員会」
13日	「議会運営委員会」	15日	北斗市議会第2回定例会本会議（第1日目）
21日	北斗市交通安全推進委員会定期総会（議長）		「会派代表者会議」
	例月出納検査（監査委員議員）		「議会運営委員会」
22日	例月出納検査（監査委員議員）	16日	定例会本会議（第2日目）
29日	北斗陣屋桜まつり（議長）		「全員協議会」
5月11日	渡島総合開発期成会役員会「函館市」（議長）	17日	「総務常任委員会」
12日	函館市議会議長退任挨拶来庁対応（正副議長）	18日	定例会本会議（第3日目）
19日	北斗市商工会通常総代会（議長）	20日	北斗市遺族会平和祈念祭（議長）
20日	「議会運営委員会」	23日	例月出納検査（監査委員議員）
25日	例月出納検査（監査委員議員）	24日	例月出納検査（監査委員議員）
26日	函館市議会正副議長就任挨拶来庁対応（正副議長）	25日	函館湾流域下水道事務組合議会臨時会（組合議員）
	例月出納検査（監査委員議員）		函館圏公立大学広域連合議会臨時会（連合議員）
28日	北斗市議会第3回臨時会本会議	30日	全国市議会議長会建設運輸委員会「東京都」（議長）
	「総務常任委員会」		
	「文教厚生常任委員会」		
	「産業建設常任委員会」		
31日	南渡島消防事務組合議会臨時会（組合議員）		

= 本会議を傍聴しませんか！ =

議会傍聴は、市民の代表である議員がどんな活動をしているか、市政がどのように運営されているのかなどを知る良い機会です。傍聴したい方は、市役所3階の本会議場傍聴席までお越しください。



議会開催予定

第3回北斗市議会定例会は、9月の開催を予定しています。

編集後記

▼北斗市では、新型コロナウイルスワクチン接種が、5月10日から始まり、65歳以上の方の接種を7月中旬に終え、その後、希望する64歳以下の方の接種も10月中旬に終える予定となっております。

▼令和3年第2回定例会が6月15日から18日までの4日間の日程で開催され、9名の議員から20件の一般質問があり、新型コロナウイルスに関する事柄、地域公共交通に関する事柄などについて熱く議論を交わしました。

また、新型コロナウイルス関係の補正予算2件、押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定についての議案4件の審議がされました。

▼1964年の前回東京五輪から57年。いよいよ、東京2020オリンピックが開催されます。

「ウィズコロナ時代」のスポーツ観戦に求められている、新しい応援スタイルも始まっています。

声が大音量なら拍手で好プレーを後押し、会場で応援ができなくても、会場のモニターなどに自宅でも応援する姿を映すリモート応援も進化しているようです。

▼新型コロナウイルス感染症対策は、自分を感染から守るだけでなく、自分が周囲に感染を拡大させないことが必要で、そのためにも、一人ひとりが日常生活の中で「新しい生活様式」の実践に心がけていくことが重要になります。一刻も早い終息を願います。

（編集委員 秋田 厚也）

☆市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。皆様のご意見感想をお聞かせください。

☎ 73-3111 F A X 73-6970 『メールアドレス gikai@city.hokuto.hokkaido.jp』

印刷／(有)上磯印刷所